

やりがいのあるロータリークラブ 活動を実践しよう!

第2137回例会

令和5年2月6日

本日の例会プログラム 第2138回例会 令和5年2月13日

- 会員卓話
- 松下美佐子会員
- 戸高勝利会員

会長挨拶



皆さんこんにちは。

最近ちょっと気になったのが、スシローにおける一迷惑行為についてです。株価などの時価総額が一時的に168億円下がったという話もあり、親と本人が謝罪に行き、謝罪は受けたが、引き続き刑事、民事としの両面から厳正に対処するという話はありました。私自身4月から高校生になる子どもの親として、すごく考えさせられる事件であります。我が子がこのような事件を起こせば、どのような形になろうとも親としての責務は果たすつもりではありますが、この事件が株価をここまで下げるような事件なのでありますでしょうか。正しくない行為であることは事実です。再犯防止の必要性があることも事実です。店側の被害も事実ではあります。親が教育できなかつたのも事実ではあります。ただ私見ではありますが、企業の損失をここまで上げたのは取り上げたマスコミの姿勢にもあるのではないかでしょうか。一番大事なことはSNSでのような行動をアップさせる承認欲求ではなく、人としてもモラルのアップをどのように上げていくかの話に思っています。

さて話を南ロータリーの話を最後少しきさせていただこうと思います。宮崎南ロータリーは来々期に50周年を迎えることになります。40周年を経験したメンバーもすでに半数いるかどうかの状態で、節目の50年を迎えることとなります。50周年の式典をやるにも、会場等の予約等準備が必要となってきます。そのためには早めのアクションを起こす必要性があります。来年度には50周年の準備委員会等を立ち上げていただければと考えております。またこの50周年を迎えるという考え方を、今の入会歴の浅いロータリー

2月の月間 平和構築と紛争予防月間

出席委員会報告

池田靖洋委員長

●出席状況

本日状況		前々回修正出席状況	
会員数	(50)51名	マークアップ数	0名
本日欠席者数	19名	修正出席率	64.00%
本日出席者数	32名	マークアップされた方	
出席率	64.00%		

ニコニコ BOX 1件 2,000円
累計 243,000円

募金箱 6,473円
累計 126,849円

活動がわからないという人、またロータリー活動の良さを伝えられない自分たちがロータリーを知るという契機にしていただければと思います。

今日もよろしくお願いします。

幹事報告

田口幸登幹事



- 令和6年4月1日から「相続登記」が義務化されます。法務局からのパンフレットをご覧下さい。
- 2023年2月の国際ロータリーレートは 1 \$ = 130円となっています。

●結婚月

安川 潔会員、戸高勝利会員、森 英典会員
笹栗 康会員



●誕生日

中原捷博会員、大浦秀幸会員、中川英治会員
黒田福太郎会員



●米山奨学金授与式



ワン イハン様

青少年奉仕委員会

大浦秀幸委員長



3月21日(金)に少年サッカー大会を開催いたします。詳細は後日文章にてご案内いたします。

地区70周年座談会について

丸山一郎会員



2月3日(金)都城で地区70周年記念誌に掲載する為、過去10年間の10人の地区幹事を集めて開かれた地区幹事座談会に、橋口元会員の代理として出席してきました。

各幹事の苦労話に花が咲き、幹事の事務(職務)マニュアルが整備されていく様子や、コロナに対する対応の変化等、興味つきない話が多く、幹事にも準備期間としてエレクト制度の必要性や陽の当たらない縁の下の方に光を当てる為にも、同様の会議が今後とも開催される事を望む声が多くありました。

会員卓話

オムコーキ看護師養成プロジェクトご報告

大田寛子会員



本日は皆さんに嬉しいご報告がございます。

宮崎南ロータリークラブが支援してきたタイ・チェンマイ県オムコーキ郡の看護師養成プロジェクトですが、今月13日に奨学生が無事に卒業式を迎えることとなりました。

まだ3月に看護師資格試験が残っていますが、4年間優秀な成績で留年もせずほつとしております。最近、新入会員の方も増えましたので、ここまで経緯を改めてお話をさせていただきます。

当クラブは数年前より埼玉・蓮田RCと共にオムコーキ郡を支援してきました。

1年目はパソコン10台の寄贈、2年目はこの

郡の小学校にはカレン族という織物を得意とする山岳民族が多く居住するのですが、その織物職業訓練センターの建設を行いました。

3年目は宮崎南で企画して欲しいと蓮田RCに言われ、その小学校の校長に必要な支援は何か尋ねたところ、医療従事者が欲しいと回答されました。

この小学校がある地区は一番近い病院までピックアップトラックで2時間かかります。道は当然舗装されておらず、万が一事故が起きたとき、日本ではすぐに救急車を呼べますが、ここは救助が難しく、時間がかかるため、命に関わることも多いそうです。

ただ日本と違い、手術以外の医療行為を看護師も行えます。よって看護師さえ十分な数があれば、助かる命も多いけれど、貧しいこの地域では看護大に通うことは困難で、また勤務を希望する看護師も少ないとの話でした。

そこでこの地域の高校生を、卒業後はオムコーキの病院で働くことを条件に看護大に通わせようというプロジェクトが立ち上りました。

最初、この話をクラブに持ち帰った時、金額的な面で反対する声ももちろん多くありました。そこで地区補助金を活用することでクラブの負担を減らそうと考えました。

ここで問題なのは「地区補助金が単年度使い切り」であるという点です。

これまでオムコーキ支援の際にサポートをしてくれた会社に管理を依頼したところ快く引き受けくださいました。

また、タイと日本という距離を埋めるため、現地でサポートしてくださいるRCを探したところ、チェンマイ北RCが手を挙げてくださいました。

限りがある地区補助金を獲得するため、当時の地区補助金委員の方も一緒に方法を模索してくださいました。

そして何よりこのクラブの皆さんのが心から応援してくださり、相談に乗ってくださり、協力してくださいました。

そんなたくさんの人に4年間を支えられた奨学生がいよいよ13日卒業します。

今月は平和構築と紛争予防月間です。

紛争を減らし平和に近づく道の1つは子どもたちに正しい教育を受けさせること、そして貧しい暮らしから抜け出す道筋をつけてあげることだと私は思います。

今回のプロジェクトはその1歩に、ロータリーの奉仕の心にふさわしいと思います。

このプロジェクトを支え、導いてくださった当クラブの皆さんに心からの拍手をお贈りしたいと思います。

長年のご協力ありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

国際ロータリー創立記念日 (1905年2月23日)にちなんで

ロータリー情報委員会

大迫三郎委員長



国際奉仕にちなんで大田寛子さんの卓話はいつもながら感動です。タイはチェンマイ地方での南クラブの奉仕活動の実情、その成果など、まさに国際奉仕の2730地区の申し子であります。(拍手)

更には大田寛子さんが、以前に卓話で話された中で、ある有名な武将の言葉が耳に残っています。

部下に対してその統率、支配するについて

「近寄らせ過ぎるべからず、遠からしむべからず」さればどうして統率するかとの問いに

「我に惚れさせることじや」と悟した。

この話に充分納得させられましたが、ロータリーも又、会員同士の素晴らしいところを汲み取りお互いに認め合い、学び合い、信じ合う。その切磋琢磨によって人格を作り上げていく。まさに人に惚れられる人間に育って行く。これは長年ロータリーを学んだ人も、新しい会員の方の素晴らしい素養も相重なってロータリーの人間形成とよりよい人生の活路になるものだと思います。

又、開地会長の挨拶も一段と上手になられ、目覚まし上達に感服しています。

さて今日はロータリー情報の月初役目ですが、ロータリー情報の基本は私達クラブで毎週唱えている「ロータリーの目的」「四つのテスト」「職業宣

言」更には「中核的価値観」の「奉仕・親睦・高潔性・多様性・リーダーシップ」にあります。

今日は国際ロータリーの創立記念日1905年2月23日にまつわるものとして、毎月「ロータリーの友」に掲載されている「ロータリーとは」2月号左開きP7から「ロータリーの誕生とその成長」及「日本のロータリー」についての記述について、改めて会員の皆さんと確認してみたいと思います。

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道徳の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互に信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超えて、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数36,697、会員総数1,195,863人(2022年12月8日国際ロータリー公式発表)に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになります。現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920(大正9)年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チエスター・ベリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財團への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,217、会員数84,602(2022年11月末現在)となっています。

令和5年 2月号

2022-23年度会長テーマ



イマジン
ロータリー

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある:

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること;
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事をすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること;
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること;
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

ロータリーの友

7

ロータリーの友 2月号左開き P7

宮崎南ロータリークラブ

事務局 〒880-0806 宮崎市広島1丁目3-3 秀豊ビル4階
TEL. 0985-22-6767 FAX. 0985-22-9170
HP : <http://mm-rc.sakura.ne.jp/> e-mail : m.m-rc@alto.ocn.ne.jp

例会場 宮崎観光ホテル(毎週月曜日 12:30~13:30 開催)
〒880-8512 宮崎市松山1-1-1
TEL. 0985-27-1212